

第6回「計画行政の実例から学ぶ講座」

大学と商店街の連携によってまちはどう変わるのか？

開催のご案内

2007年9月吉日

各位 殿

日本計画行政学会 関西支部
実例講座実行委員会

拝啓 晩秋の候、皆様にはいよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、若手研究者、若手行政職員、学生・院生などを主な対象に、関西に蓄積された計画行政のストックのトランスファーを目的とする「計画行政の実例から学ぶ講座（略称：実例講座）」の第6回目を、下記のように開催いたしますので、ご案内いたします。

第6回は、阪神間有数の商店街である中央・三和・出屋敷商店街（兵庫県尼崎市）において、平成16年度から5大学の協同研究の取り組みに深く関わってこられた三谷真准教授（関西大学商学部）をお招きし、大学が商店街に入っていくことの有効性と限界、大学の立場から見て連携しやすい商店街や行政とは（行政や商店街における大学との付き合い方）など、大学と商店街について自由に本音を語っていただきます。

ご多忙とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

参加を希望される方は、会場（定員30名程度）や資料の準備の関係がありますので、ご氏名、所属、連絡方法（TEL、メール等）、講座後の懇親会の参加意向を記して、10月22日（月）までに、メールかFAXでご連絡いただきますようお願いいたします。

敬具

記

日時 2007年10月29日（月） 午後6時30分～8時30分

（講演：約1時間 / 意見交換：約1時間）

講座終了後、希望者による懇親会あり（ひとり3千円程度の会費制です）

午後7時を過ぎますと、ビルの出入は夜間通用口（地下）経由となります。

場所 ㈱地域計画建築研究所 大阪事務所 会議室（裏面案内図参照）

テーマ 「大学と行政の連携によってまちはどう変わるのか？」

講師 三谷 真氏（関西大学商学部准教授）

参加費 1,000円（会員・非会員ともに） ただし学生・院生は無料

申込先 日本計画行政学会・関西支部事務局

メール：japa-kansai@kagoya.net

FAX：06-6941-7478

申込受付は先着順とし、定員30名を越えた時点以降に申し込まれた方には、お断りのご連絡をいたします。

【講師（三谷真氏）のプロフィール】

1955年神戸市生まれ、神戸商科大学大学院経営学研究科博士課程修了。関西大学商学部准教授。専門分野は商業論、消費論、流通政策。都市と商業という観点から商店街活性化を研究し、関西の商店街、中心市街地活性化を支援。大阪市、神戸市、尼崎市、伊丹市、吹田市、守口市でまちづくり・商業活性化のための各種委員を務める。

【会場（株）地域計画建築研究所 大阪事務所）の案内図】



- J R大阪環状線：「大阪城公園駅」下車徒歩3分
- J R東西線：「京橋駅」下車徒歩10分
- 京阪本線：「京橋駅」下車徒歩10分
- 地下鉄長堀鶴見緑地線：「大阪ビジネスパーク駅」下車徒歩5分

F A Xでの申込用紙（F A Xでお申し込みの方は、下欄にご記入の上お送りください）

F A X送信先：06 - 6941 - 7478（担当：高田、仲野）

第6回「計画行政の実例から学ぶ講座」に申し込みます。

| | |
|--------------------|------------------------------------|
| ご氏名 | |
| ご所属 | |
| 連絡方法 (TEL,メール等) | |
| 懇親会の参加意向 | 参加します 参加しません (いずれかにをつけてください) |